



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL http://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉澤 正信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)碓井 隆司 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	216,547	8.6	10,350	5.4	12,535	3.1	5,352	△10.7
26年3月期第3四半期	199,470	12.1	9,820	△31.1	12,160	△16.8	5,995	△32.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 7,933百万円(△31.8%) 26年3月期第3四半期 11,636百万円(11.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	126.96	126.04
26年3月期第3四半期	126.83	125.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	230,690	117,543	47.6
26年3月期	210,955	109,081	48.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 109,923百万円 26年3月期 102,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
27年3月期	—	12.50	—		
27年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	△1.6	17,000	10.1	16,500	△5.8	8,000	△2.5	189.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	47,529,273株	26年3月期	47,410,073株
27年3月期3Q	5,332,079株	26年3月期	5,331,961株
27年3月期3Q	42,154,695株	26年3月期3Q	47,270,477株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては米州等の増産影響に加え、円安に起因する為替影響により2,165億円（前年同期比170億円増、8.6%増）となりました。利益につきましては、国内の減産影響等はあるものの、当社グループをあげて取り組んでおりますUPS（ユニプレス生産システム）活動を柱とした合理化効果により、営業利益は103億円（同5億円増、5.4%増）となりました。経常利益は為替差益の増加等により125億円（同3億円増、3.1%増）、四半期純利益は53億円（同6億円減、10.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の減産の影響により、売上高は731億円（前年同期比128億円減、15.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は49億円（同24億円減、33.6%減）となりました。

② 米州

得意先の増産影響に加え為替影響もあり、売上高は699億円（同217億円増、45.0%増）となったものの、増産対応費用等により、セグメント損失は17億円（前年同期は37億円の損失）となりました。

③ 欧州

得意先の増産影響に加え為替影響もあり、売上高は245億円（前年同期比49億円増、25.2%増）となり、セグメント利益は24億円（同9億円増、61.8%増）となりました。

④ アジア

タイにおける減産影響はあるものの、新拠点による売上高増に加え為替影響等もあり、売上高は488億円（同33億円増、7.3%増）となり、セグメント利益は49億円（同4億円増、9.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、為替影響を含め受取手形及び売掛金が48億円、有形固定資産が97億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ197億円増の2,306億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が98億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ112億円増の1,131億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が59億円、為替換算調整勘定が11億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ84億円増の1,175億円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイントマイナスの47.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、平成26年5月13日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 第2四半期連結会計期間から、新たに設立したユニプレスマラバマを連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が333百万円増加し、退職給付に係る負債が2,300百万円減少し、利益剰余金が1,698百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,756	24,928
受取手形及び売掛金	35,148	39,959
たな卸資産	21,410	23,320
その他	11,908	11,304
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	89,222	99,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,668	24,628
機械装置及び運搬具(純額)	48,948	54,098
土地	8,193	8,222
建設仮勘定	9,946	10,982
その他(純額)	13,393	15,928
有形固定資産合計	104,150	113,860
無形固定資産	2,724	2,744
投資その他の資産		
投資有価証券	8,017	8,346
その他	6,847	6,238
貸倒引当金	△6	△12
投資その他の資産合計	14,858	14,572
固定資産合計	121,732	131,177
資産合計	210,955	230,690
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,176	25,248
短期借入金	25,791	33,809
未払法人税等	4,738	2,164
賞与引当金	2,548	1,500
その他の引当金	108	87
その他	15,185	22,526
流動負債合計	74,548	85,337
固定負債		
長期借入金	8,705	10,551
その他の引当金	164	151
退職給付に係る負債	10,494	6,739
その他	7,960	10,366
固定負債合計	27,324	27,808
負債合計	101,873	113,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,767	9,849
資本剰余金	10,825	10,906
利益剰余金	89,009	95,006
自己株式	△10,238	△10,238
株主資本合計	99,363	105,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	617
為替換算調整勘定	7,220	8,386
退職給付に係る調整累計額	△4,845	△4,603
その他の包括利益累計額合計	2,965	4,400
新株予約権	249	190
少数株主持分	6,503	7,430
純資産合計	109,081	117,543
負債純資産合計	210,955	230,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	199,470	216,547
売上原価	175,756	190,711
売上総利益	23,713	25,836
販売費及び一般管理費	13,893	15,485
営業利益	9,820	10,350
営業外収益		
受取利息	102	212
受取配当金	66	78
為替差益	2,400	3,001
持分法による投資利益	139	—
その他	347	406
営業外収益合計	3,055	3,698
営業外費用		
支払利息	524	730
持分法による投資損失	—	629
その他	191	153
営業外費用合計	715	1,513
経常利益	12,160	12,535
特別利益		
固定資産売却益	27	67
投資有価証券売却益	—	328
持分変動利益	97	—
新株予約権戻入益	3	16
特別利益合計	128	412
特別損失		
固定資産処分損	166	63
関係会社株式売却損	53	—
その他	21	0
特別損失合計	242	63
税金等調整前四半期純利益	12,046	12,883
法人税等	6,845	6,484
少数株主損益調整前四半期純利益	5,200	6,399
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△794	1,047
四半期純利益	5,995	5,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,200	6,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	554	22
為替換算調整勘定	5,859	1,333
在外子会社の年金債務調整額	△57	—
退職給付に係る調整額	—	242
持分法適用会社に対する持分相当額	79	△64
その他の包括利益合計	6,435	1,533
四半期包括利益	11,636	7,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,141	6,786
少数株主に係る四半期包括利益	△504	1,146

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	86,063	48,272	19,607	45,525	199,470	—	199,470
セグメント間の内部売上 高又は振替高	17,355	56	—	982	18,393	△18,393	—
計	103,418	48,329	19,607	46,507	217,863	△18,393	199,470
セグメント利益又は損失 (△)	7,413	△3,736	1,483	4,501	9,663	156	9,820

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	73,196	69,979	24,542	48,828	216,547	—	216,547
セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,247	15	5	1,142	14,410	△14,410	—
計	86,444	69,995	24,547	49,970	230,958	△14,410	216,547
セグメント利益又は損失 (△)	4,920	△1,713	2,401	4,941	10,548	△198	10,350

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。